

腫瘍内科、内科Ⅰ（旧第1内科）、呼吸器外科（旧第2外科）に通院中
（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開し患者さんが拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 肺癌、縦隔腫瘍におけるタンパク質分解酵素（プロテアソーム、カテプシン）の発現に関する研究

[研究機関] 北海道大学大学院医学研究院分子病理学教室、北海道大学病院腫瘍内科
（病院長 寶金 清博）

[研究責任者] 外丸 詩野（医学研究院分子病理学教室・准教授）

[研究の目的]

肺癌や縦隔腫瘍の診断や治療法の開発のため、タンパク質分解酵素であるプロテアソームやカテプシンの癌組織における発現を検討することを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

- ① 肺癌の患者さんで、昭和56年4月1日から平成6年12月28日の間に北大病院で手術治療を受けた方
- ② 縦隔腫瘍の患者さんで、平成2年4月1日から平成32年3月31日の間に北大病院で手術治療を受けた方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：摘出されて残った標本を用い、プロテアソーム、カテプシンに関する検査を行います。

カルテ情報：年齢、性別、喫煙歴、組織型、分化度、病期、血液検査・画像検査結果、治療後の経過など

[研究実施期間] 実施許可日～2020年3月31日

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目 北海道大学病院腫瘍内科

担当医師 木下 一郎 電話 011-706-5551 FAX 011-706-5077